

3年間の事業成果と課題（主に KPI 分析）

■ 事業計画期間の満了を迎えるにあたり、内閣府へ提出した実施計画で定める重要業績評価指標（KPI）の達成状況（見込み）は以下のとおり。

KPI 項目	設定趣旨	基準値 [令和 01 年度]	目標値 [令和 04 年度]	達成見込み	
					実績値 (R04.12.31 現在)
(1) 清洲城（有料）及びあいち朝日遺跡ミュージアムの入場者数	<u>清須観光の入り込み客数のサンプル</u> として、誘客施設の核と位置づけられる2施設（清洲城及びあいち朝日遺跡ミュージアム）の入場者数を KPI に設定した。	66,007(人)	133,000(人)	×	92,259(人) [城:50,127/朝:42,132]
(2) 清洲ふるさとのやかた土産物の販売額	<u>観光消費額のサンプル</u> として、清洲城最寄りの物販施設である清洲ふるさとのやかたでの販売実績額を KPI に設定した。	10,736(千円)	13,000(千円)	○	13,518,707(円)
(3) 特産品開発支援を通じて中小事業者が開発した特産品数	観光消費を牽引できるような <u>新規特産品開発の結果</u> を、特産品開発事業の KPI に設定した。	2(品)	累計 9(品)	○	累計 13(品)
(4) 清須市観光協会 HP のアクセス件数	本市唯一の観光まちづくり団体である <u>清須市観光協会の情報発信力を測る数値的サンプル</u> として、リニューアル後の HP アクセス件数を KPI に設定した。	82,082(件)	149,000(件)	△	137,886(件)

達成見込みに基づく分析（事務局案）

【× 未達成だった項目】 KPI(1)関係

- ・ 観光協会の情報発信が、清洲城入場者数にあまり効果を発揮していない。
- ・ 清洲城周辺でのイベント開催（きよすフェス、きよすイルミ 2022 等）が、必ずしも入場者数ベースでは大きく貢献していないと評価せざるを得ない。

【○ 達成した項目・△ 達成が見込まれる項目】 KPI(2)～(4)関係

- ・ これらは、それぞれ次のような事業が直接的な効果を発揮した。

KPI 達成に効果を発揮した取組		KPI 項目
清洲ふるさとのやかたリニューアル	→	(2) 清洲ふるさとのやかた土産物の販売額達成
ご当地グルメ「清須からあげまぶし」の開発（市内事業者で一定の参加店舗を得られた）	→	(3) 特産品開発支援を通じて中小事業者が開発した特産品数達成
情報発信コンテンツ（観光協会ホームページ、小冊子等）のリニューアル	→	(4) 清須市観光協会 HP のアクセス件数達成

- ・ KPI(4)観光協会 HP アクセス件数は、12月31日時点では未達成だが、1月以降の大河ドラマ「どうする家康」放送開始や3月の桜開花情報の掲載で集中的なアクセスが見込まれるため、年度末には目標値に届く見込み。

【課題】

- ・ 3箇年の取組で整備した各コンテンツにより、達成できた KPI はあるものの、KPI(1)が未達成となったことからうかがえるように、各 KPI が相互に効果を刺激する、いわゆる好循環のレベルには達していない。
- ・ 今後、清洲城周辺でイベントを行う際には、清洲城へ入場するところまでを誘導するようなサイドイベントを同時開催する等、改善の余地が大きい。